

# Challenge yourself

## マグロは、ずっと泳ぎ続ける。

年が明け、すぐに妙高移動教室に行きました。みなさんの協力のおかげで、無事にひとつの行事を成功させることができました。その成果は、普段の学校生活からも伝わっています。社会の発表や、ブックトーク発表会。国語の百人一首や、総合的な学習の時間「シブヤ科」の授業。1月はとても濃厚な毎日でした。9年生は、卒業まであと何日か、カウントダウンが始まりました。今年度がもうすぐ終わろうとしています。

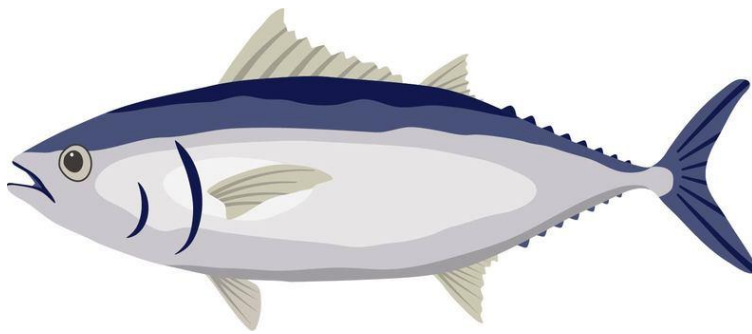
そして、あっという間に2月となり、日々の生活の中から、少し疲れも見え始めていますが、大切なのは、どんなことに対しても、前を向き続けることだと思います。



ブックトークの様子



9年生 カウントダウン



マグロは、生まれてから死ぬまで一生泳ぎ続けると言われています。最高時速 160km で泳ぎ続けることができるマグロは、餌を求めて毎日 300km 以上も海原を泳ぎ回ります。英語でツナ (tuna) と呼ばれていますが、その語源はギリシャ語で“突進”を意味するツナス (thynnus) を意味しているそうです。

マグロは口を開けて泳いでいます。これは口を開けることによって、エラを通過する水から酸素を取り入れて呼吸するためです。マグロは、泳ぐのを止めると窒息してしまうため、一生の間、いっときも休むことなく高速で泳ぎ続けなくてはならないのです。夜のあいだも十分な睡眠をとることはなく、やや代謝を低くして遊泳速度を落としながら泳ぎ続けます。マグロは呼吸するために泳ぎ続けることを運命づけられた魚なのです。

「いっときも休むことなく高速で泳ぎ続ける」こんなことを、私達人間はできません。でも、マグロは生きるために、前を向き続けています。私達も、未来のために、前を向くことを続けていきたいですね。コロナ感染症による、新しい生活様式のもとの生活を送っていると思います。学年末考査も少しずつ近づいています。マグロのように時に、潮の流れに任せて、休憩しながらも、自身の目標に向かって努力し続ける日々を、共に目指していきましょう。